

平成31年1月24日  
最後の現場内作業が完了しました。  
1年8ヶ月(安全教育回数15回)と  
長期にわたりましたが、  
無事に完了することができました。  
これも、地域の方々の暖かいご理解が  
あってこそのもです。

また  
無事故・無災害で完了できたのも  
現場に従事して下さった作業者の方たちの  
安全管理に対する理解と安全意識の高さの  
積み重ねでもあります。

ありがとうございました。

本工事がようやく完了しました。  
現場内の寸法をよく確かめて  
キレイに清掃をして完了になります。

## 1月(跡片付け)



冬本番！今年は雪がまだ少ないですが、夜間はさすがにあちこち凍結しているので車の運転や誘導方法などの交通災害について冬バージョンの教育。  
毎年の事でも冬場の運転は慎重に、慎重に。

現場では常にかぶっているヘルメット。  
大切な頭を毎日守ってくれる保安用具です。  
洗浄・点検・交換 安全な状態を保ちましょう。



# 現場の安全管理活動 vol.5

工事も終盤！！ちょっと気を緩めると大きな災害につながってしまったりする。最後の最後まで安全作業でみんな笑顔で帰れるように頑張ります！

## 12月 (FRP積層工)



【点検方法の教育】マンホールを昇降する時にも落ちないように上からワイヤーを掛けます。(安全ブロックと言う製品)使用する工具や保安用品も日々点検を行います。

材料を固める薬品に付いてくる書類

「MSDS」→「めっちゃスゲー毒さわるな」ではありません。  
「マテリアル・セーフティデータシート」は薬品の取扱い注意点が書かれています。良く読んで正しい使用方法を学びます。



## 11月 (FRP積層工)



現場内で人が倒れたり、歩けなくなって運ばなくてはいけな時は現場に常備してあるベンチが担架に早変わり。使い方も作業員のみなさんで知っておかなければ急な対応がとれません。

事故やケガがなくても

「おっと危ない！」「ヒヤッとした〜!!」なんて事があります。そんなヒヤリハットを現場マップに書き出し、作業員で共有して同じことが無いようにします。



## 10月 (FRP積層工)



いよいよ最後の工種になりました。工種が変わると危険の内容が変わるので、注意点などみんなで再確認。最後まで気を引き締めて安全作業に努めます。

材料を固めたりする薬品を使用します。人体に有害なガスなども発生するので、取扱方法の確認やマスクなど保護具の使用の確認を念入りに教育しました。



# 現場の安全管理活動 vol.4

工種が変わると、潜んでいる危険の内容も変わります。作業場所・作業内容に合わせた安全対策で事故防止

## 9月(裏込注入工・支保工解体)



安全に関する知識や考え方・今まで起こった災害の事例など資料で教育することはたくさんあります。が、、、→

何より大切なのは作業する人たちのカラダです！健康に働けるようメンタルヘルスケアや体力測定などで自分を見つめることも行いました。



## 8月(裏込注入工)



文字や絵だけではなかなかイメージできない事も。わかりやすい動画を皆さんで視聴。イメージを共有できました。

現場で実際に緊急事態が起きたと想定して避難訓練を実施しました。今回は有害ガスの発生で避難用マスクを着用しての避難になりました。今回で3回目なので皆さんスムーズです。



## 7月(支保工組立)



過去の事故事例・失敗談はとても為になります。実際に現場の最前線で経験している皆さんも同じ場面になったときはこの話を思い出して事前に危険を回避！

下水道の管渠内では酸素濃度や有害ガスの濃度を確認しながら作業しなければなりません。緊急時などでも対応できるように、知識の確認・訓練はとても大切です。



# 現場の安全管理活動 vol.3

月に4時間  
安全と向き合う大切な時間  
毎月その時 作業している内容と合せて

## 6月(支保工組立・裏込注入工)



管渠内に取り残された人がいないように、入坑者は顔写真付きのプレートで確認ができます。避難訓練のタイムも測定して緊急時に備えます。



新潟地震が発生した6月16日に地震を想定した避難訓練を行いました。万が一の時に管渠内から素早く退避するために訓練は大切です。

## 5月(支保工組立・裏込注入工)



クレーンの合図方法の教育。「そんなの知ってる」ではなく熟練の作業者だからこそ、慣れによるウッカリが危険！みんなで初心を忘れずに基本を再確認。



注入するモルタルは大型土のう袋で搬入されます。ただの大きい袋でも重たくなりクレーンで吊れば危険も伴います。知識の向上・点検方法の教育を行いました。

## 4月(製管工・支保工組立)



現場の安全に関するだけでなく、作業される皆さんの健康管理についての座学や個々の健康チェックをしました。  
(目を閉じて片足立ち...グラグラします)



新年度、交通安全週間もあったのでゆとりを持った運転方法や事故事例を基に、安全に関する心構え・知識の向上を図りました。

# 現場の安全管理活動 vol.2

安全教育の内容には資料による座学の教育と現場や事務所で実際に体験をしたりする訓練があります。

## 3月(製管工)



避難指示がでてから全員が退避するまでの時間を測定しました。連絡方法・避難方法・点呼など実際に行動して確認することで緊急時に慌てずに素早く行動できるように訓練しました。



いよいよ作業再開！作業方法の再確認と管渠内の増水を想定した避難訓練を実施。

## 1月・2月(管渠内水位上昇で作業不可)



管渠内の水位観測システムを取付けて常時、インターネットを通して観測しているのでマンホールを開けなくても管渠内の状態が把握できます。



積もった雪を溶かす水も一緒にすべて管渠内に流れ込みます。管渠内は人間がすっぽり潜ってしまうくらいの高さまで上昇してしまいます。

## 12月(製管工)



緊急時に対応できるように応急救護についても訓練しました。一緒に作業する仲間たちと助け合って無事故・無災害を目指します。



寒さも本格的になってきたので道路の凍結などによる交通事故も想定されます。動画を活用した座学教育をしました。